

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

# 教育いちかわ



市川市教育振興基本計画 ~次のような目標を掲げています~

### 子どもの姿

自分や他人を大切にし、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

### 家庭・学校・地域の姿

自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する

### 市川の教育の姿

教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する



田中 庸恵 教育長

## 市川の教育の「これから」を語ろう PART3

シリーズ第3弾。田中教育長に、市川の教育のこれからについて伺いました。

### 子どもたちの「気づき」を「学び」に高めて

子どもたちは、外の世界からの刺激にさまざまな反応を示します。面白がったり不思議に思ったり、怖がったり驚いたり、もつとやってみたり、逆に近寄ろうともしなかったり・・・けれども、そういう心の動きは、子どもの成長という観点から見ると、まだまだおぼろげでかすかなものです。やがて、集中した取り組みを始めますが、まだそれも「淡い気づき」とでも言うべきものです。子どものこうした心の動きに気づき、さらに次の興味・関心を引き起こさせたり知識を体系化していったりしていく「指導者・支援者」がいることで、子どもの学びは大きく膨らみ変容し、成長を遂げていくのです。

学校教育の場合は、教師が子どもたちの気づきを見取っていく役目を果たします。教師は、子どもたちに関わっていけばいくほど、子どもたちそれぞれの奥深さを知ることになります。日々の教師と子どもたちとの深い関わりによって、学校教育が豊かに営まれ、子どもたちが成長していくのです。

### 子どもに関わるすべての人が、子どもの成長を見守って

子どもにとって「指導者・支援者」は教師だけではなく、「子どもの淡い気づき」を最も身近に感じているのは、保護者であると思います。子どもは保護者との強い絆が形成され、愛情という安心の裏づけがあって、はじめて外の世界へと働きかけていくことができます。認められたり励まされて子どもの成長はさらに促されます。実際に見て知り、手にとって感じ、動いて実感するなどの体験が、子どもを成長へと導いていきます。

## 「夢」の実現につながる先見的な教育を！

さらに、子どもたちは地域と関わり、さまざまな行事や活動に参加していきます。子どもたちは、地域でもどんどん育っていきます。家庭・学校・地域との関わりの中でダイナミックに成長を遂げていきます。ですから、家庭も学校も地域も、それぞれ積極的に「子どもの成長を見守る」役割を發揮していくことが大切だと思います。



概要版パンフレット

### 家庭・学校・地域・行政が一体となって

家庭・学校・地域が子どもたちの成長を温かく見守り、関わることでさらに子どもや教育が見えてきます。「子どもたちを慈しんで育てていく」ことは、どんなに時代が変わろうと不易なものとして大切なことです。折りしも、昨年、「市川市教育振興基本計画」が策定されました。家庭・学校・地域、そして行政がそれぞれの役割を發揮し、連携・協力することで子どもたちの夢を叶えようとするものです。

「子どもの夢を叶える」この言葉をあらためて胸に刻んで、今後の教育行政に当たっていきたくと思います。 [教育政策課]

## 平成21年度 全国学力・学習状況調査「市川市」分析結果

### 小・中学校ともに「おおむね良好である」



国語の授業 大洲小4年生

今年度第3回目を迎えた全国学力・学習状況調査が4月21日に実施され、市川市では、3,737人の小学6年生と2,784人の中学3年生が参加しました。学力状況の調査については、国語と算数・数学の2教科、それぞれA(主に「知識」に関する問題)とB(主に「活用」に関する問題)の2種類の問題で、学習意欲・学習方法・学習環境・生活習慣の諸側面に関する調査は、質問紙で行われました。

国語、算数・数学の2教科とも、正答率で全国と比較した結果では、小・中学校ともに全国平均正答率の上下5ポイント未満の範囲内にあり、「おおむね良好である」と言えます。(欄外参照)

質問紙調査の結果から市川市の児童生徒の特徴をみると、小学校では「テレビやビデオを見ている時間が少ない・新聞やテレビのニュースに関心が高い・総合的な学習の時間が好きである」という点が好ましい状況として挙げられます。中学校では、「普段の日(月～金)に早起きしている・世の中の出来事に関心が高い・総合的な学習の時間や読書が好きである」という点が好ましい状況となっています。逆に改善すべき点として、小・中学校ともに「携帯電話で毎日通話やメールをしている割合が高い・地域の行事に参加する子が少ない・家庭での学習時間が少ない」ことが挙げられます。

教科に関する調査との相関関係をみると、「生活習慣や家庭での学習習慣が確立されている」という児童生徒は、平均正答率が高いという傾向が出ています。また、学校に対して行った教育内容についての質問紙調査からは「習熟度別少人数指導などの個に応じた指導や、外部人材・施設などの活用に入れている」という学校では、正答率が高いという傾向が見られました。

数学の授業: 妙典中3年生

児童生徒の学力向上のためには、学校だけでなく、家庭の協力や地域の方々の関わりが大切な要素になってきます。今年度より実施されている市川市教育振興基本計画の中でも「自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域」を、目標とする姿として掲げています。 [指導課]

平成21年度

## 市川市教育功労者表彰式

11月13日



本年度は、13人の方に宇田川委員長より表彰状と記念品が授与されました。

教育功労賞は、多年にわたり学校教育、社会教育または文化の振興に優れた功績をあげられた方を表彰するものです。

受賞者の氏名と所属は、右記の通りです。(敬称略)

受賞された皆様、おめでとうございます。 [教育政策課]

増田 進	市川市市立行徳小学校	校長
熊谷 幸治	市川市立稲荷木小学校	校長
五十嵐 実	市川市立大洲小学校	教頭
鐵本 初江	市川市立中国分小学校	教諭
千島 良二	市川市立国分小学校	教諭
江里川 義夫	市川市立第三中学校	学校医
	市川市医師会	監事
萩原 和明	市川市立福栄中学校	学校歯科医
	市川市歯科医師会	副会長
西川 淳子	市川市立宮田小学校	学校薬剤師
玉置 善正	市川市博物館協議会	委員
熊野 正也	市川市博物館協議会	委員
唐沢 孝一	市川市博物館協議会	委員
森 亘 男	市川市博物館協議会	副委員長
西畑 健一	市川博物館友の会	顧問

※「平成21年度 全国学力・学習状況調査分析結果『市川市』」は、Webサイトに掲載しています。  
(<http://www.city.ichikawa.lg.jp/edu07/1111000001.html>)

※ 本調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

■発行	市川市教育委員会	■企画編集	市川市教育センター
〒272-8501	市川市八幡1-1-1	〒272-0015	市川市鬼高1-1-4
TEL 334-1111		TEL 320-3335	



# 外遊びって楽しいね！ いまいまちばっ子コンテスト ～遊・友スポーツランキングちば～

「遊・友スポーツランキングちば」をご存知ですか？

千葉県では、児童生徒の体力向上を図るために、業間休みや昼休みの時間帯に児童生徒が取り組める7種類の運動種目を紹介しています。友だちと協力し合いながら、全県下でランキングを競うのが「遊・友スポーツランキングちば」です。

やりはじめるとランキングが気になるようで「もっと上位を目指そう！」とやる気が倍増。市川市内でも多くの児童生徒がチャレンジしています。前期(6月30日まで)は、東国分中陸上部が「みんなで短縄跳び」部門で県内1位に輝きました。

中期(7月1日～11月30日)には、市川小・宮田小・菅野小・行徳小・幸小・新井小のクラス(またはグループ)がトップ10にランクインしました。特に各部門の第1位となったクラス・グループは、種目別の「記録認定証」が授与されました。表彰を受けたのは以下のクラス・グループです。

- 「長縄8の字連続跳び」小学校中学年(グループ)新井小3-1A
- 「みんなで短縄跳び」小学校低学年(クラス)幸小2-3
- 「みんなで短縄跳び」小学校低学年(グループ)幸小2-3レインボースターズ

## 遊・友スポーツランキングちば Q & A

期間はいつまでですか？

1年を通して実施。3期(前・中・後期)に分かれています。

種目を教えてください。

「みんなでリレー」「長縄8の字連続跳び」など7種目です。

参加できる人は誰ですか？

千葉県内の公立学校の児童生徒。「クラス」または「グループ」で参加します。

今からでも間に合いますか？

はい。後期は12月1日～2月26日です。詳細はWEBサイトをご覧ください。

→ <http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/taiiku/chibacon/index.html>



ランキング 県内1位！  
新井小 3-1Aの妙技



記念撮影(新井小)

12月15日(火)、新井小は、中期において申告回数が最も多かった学校として、「遊・友スポーツランキングちば大賞」となり、鬼澤県教育長から表彰を受けました。

10月の校内長縄大会で1位になった5-2のお友達に秘訣を教えてくださいました。「縄が地面にあたる音を聞いてリズムよく跳ぶこと」だそうです。

みなさんもぜひ挑戦してみてください！

[保健体育課]

## ◆学校評議員及び学校関係者評価委員研修会◆

市川市教育委員会では、信頼される学校づくりを推進するため、各学校の保護者や地域の方々等に学校評議員並びに学校関係者評価委員をお願いしています。10月15日には、委員の方々を対象として、市内2箇所の会場で、活動の意義をお伝えするための研修会を開催しました。各委員の方々には、学校運営への提言や現状に関する評価に携わっていただき、学校と家庭・地域との橋渡し役として、ご活躍いただくことを期待しています。



グリーンスタジオでの講演会

[義務教育課]

## 教育に夢を！

### ◆◇教育委員と学校の交流会◆◇

キャリア教育の授業を参観

幸小 10/22

約70名の6年生が、希望するブースを訪ねながら「仕事のプロ」と交流を持ちました。子どもたちは、地元のケーキ屋・工務店・幼稚園の先生・ダンサーなど10ブースの中から4つをまわり、仕事を身近に感じることができた様子でした。教育委員からも「素晴らしい取り組みですね」との声が聞かれました。



浦和レッズのトレーナーによるテーピング実技とにかく手際がよい

## インターネット掲示板使ってみると？

インターネット掲示板について  
～授業前アンケートより～  
インターネット掲示板、あなたは？

- ① 知っている ……27%
- ② 見たことがある ……15%
- ③ 書き込んだことがある… 6%
- ④ ルールを知っている ……50%



情報モラルって？  
友だちの書き込みについて、真剣に考える子どもたち

9月9日、大野小学校において、情報モラル教育にかかわる道徳の授業が行われました。この授業では、6年生が、インターネットの掲示板について読み物教材を使って考えました。インターネットは学習でも活用されていて、その便利さを感じている児童は多いようです。

授業は、「広い心で考える」をテーマとして、「日常的なモラルを高めることで情報モラルを高めていく」という試みでした。子どもたちの活発な話し合いが行われ、「掲示板を使うときの注意」などについて多くの建設的な意見が出されました。授業後には、「掲示板で反論されたりするとムカッとくるけど、冷静に受け止めることの大切さを知りました。」などの感想が寄せられました。

情報モラル教育は、新学習指導要領において各教科・領域の中で指導されることとなりました。今後もこのような取り組みが多く行われるようになることを期待しています。

[教育センター]

生徒会役員との交流

第四中 11/20

9月に改選した新役員の子供たちとの意見交流でした。

教育委員は、新しく委員に任命された内田委員を含めて5名が参加。

意見交流では、教育委員の仕事内容の紹介、日ごろの学校生活についてなどが話題になりました。「生徒会の伝統をつないでいくためにも頑張りたい」という言葉に、教育委員も感心しきりでした。



初めは緊張気味でしたが、次第に表情もほぐれてきました

二俣小 11/25

チャレンジタイムの参観



課題で出されたプリントができたならO(マル)をつけてもらう「急がずに正確に」が合言葉

学習支援ボランティアの方(地域の方々や保護者)が全教室に入り基礎的な学習の定着を支援する時間、チャレンジタイム。この取り組みは、今年で6年目。10月は6日間でのべ180名以上が協力されています。放課後には、地域の方々・保護者と教育委員との意見交流が行われました。

[教育政策課]

10月

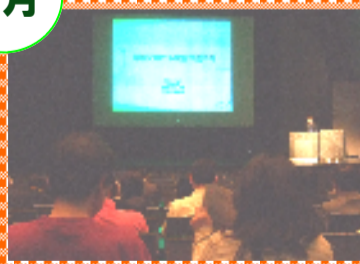
銀メダリストにタックル!!



シドニーオリンピック銀メダリスト永田選手を迎えて。(幸小 5・6年生)

11月

子どももメタボに？



教職員のための食育推進講座  
和洋女子大坂本学長の講話

12月

地域の方々が各教室へ!



中山小「ふれあい道徳学習」  
お話しただく方々が一同に集合

1月

市内137ブロックの代表集合!



補導員連絡協議会役員会・理事会  
地域での見守り活動(少年センター)

## フォトアルバム 市川の教育

市川の教育の一場面を写した写真を掲載します！ 読者の皆さんからの情報提供をお待ちしています。情報提供については市川市教育センターのWEBページをご覧ください。



写真つきの手紙集

# 古代からの贈り物

ある朝、樋口進さん(元第四中学校長)の自宅に封筒が届きました。それは、「万葉植物園」で仕事をしていた時に「古代米の苗」を届けた大野小4年3組からの写真つきの手紙でした。一人一人が自分専用「バケツ稲」と一緒に写真に納まっていた。大きく育った稲と子どもたちの笑顔に感動しつつ、何度も手紙を読み返しました。

大野小学校では、「わくわくチャレンジ」を合言葉に各クラスごとに「総合」に取り組んでいます。4年3組は、昨年「食」についての学習を進めてきました。3年生の「食」の学習のはじめには、地域にお住まいの齋藤佳奈子さん(NPO法人日本食育協会:上級食育指導師)から「まごわやさしい=体に良い食べ物」について教えていただきました。「ま=豆類」の中の大豆を育てながら、「食」への関心が高まってきました。

4年生になり、主食の大切さに注目するなかで、樋口さんから「古代米の苗」の話が届きました。クラスでの話し合いの結果、全員で「昔のお米」を育てる活動に取り組むことにしました。担任の石原美緒先生は、学習の広がりを見守っていきました。



草たけ14cm

いただいたのは、葉の色が違う3種類の稲。田んぼが確保できなかったので、バケツで稲を育てることにしました。校内で一番日当たりの良い屋上で育て始めたものの、育てていく道のりでは、たくさんの苦労がありました。特に水やりは大仕事。いつも教室から屋上へのバケツリレーを行いました。台風がやってきた時などは、みんなでびしょ濡れになって「古代米」を守りました。

「稲を实らせたい」という思いは、育て方・種類・病気・害虫などについて調べる意欲につながり、葉の色の違いは、収穫される米の違い(赤米・黒米・紫米)であることがわかりました。そして、秋に収穫を迎えることができました。



「古代米」は、稲の原種の特徴を受け継ぐ米と言われています

12月5日(土)、学習のまとめとして「おむすびレストラン」を開き、お世話になった齋藤さん・樋口さんをご招待して収穫の喜びをみんなで分かち合いました。

## ～ま・ご・わ・や・さ・し・い～ 古代米を育てて、「おむすび」レストラン



「おむすび」試食の前後には、おいしい炊き方、米の栽培状況、古代米の種類など各グループからの学習成果の発表がありました。



おいしいね!古代米のおむすびを「あ〜ん」

子どもたちからは、「屋上での栽培は大変だったけど、やってよかった」「樋口さん、齋藤さんに喜んでもらえて嬉しい」「この体験は私たちの宝物です」という感想の発表がありました。

「おむすび」という言葉を使ったのは「結ぶ」という言葉の響きを大事にしたいという子どもたちの願いから。その願い通り、子どもたちの「心」、齋藤さん、樋口さんの「心」を結ぶ「おむすび」レストランになりました。古代からつながる「昔のお米」を育てたことで「人」への感謝の気持ちを学んだ子どもたち。「古代米」の味はずっと記憶の中に残ることでしょう。

市川市では、学習の一環として、実際に「稲」を育てている学校が他にもあります。「苗」の提供や育て方の指導など「米づくり」を地域の方々に支援していただいている学校は13校、「米っくらぶ」から脱穀機を借りたり、「わら」を提供していただいたりして「総合・理科・社会」などの学習に生かしている学校も3校あります。地域のご支援に感謝いたします。

◆関連クイズ:文中に登場する「まごわやさしい=体に良い食べ物」とは何でしょうか?(答え:4面に記載) [指導課・教育センター]

## 市川市子ども会育成会連絡協議会50周年記念大会 「わくわく子ども広場」大盛況!!

リーダー勢ぞろい!



10月4日(日)、澄み渡る青空のもと、大和田小学校で市川市子ども会育成会連絡協議会50周年記念事業「わくわく子ども広場」が開催されました。参加者はわんぱくセミナーの受講生も含め市内の小学生298名、携わったボランティアはジュニアリーダー講習会の受講生を合わせて250人を超え、大盛況!

スキップ50m走や紙ちぎりのぼし、サイコロ1だしなどのお馴染みチャレンジランキングをはじめ、昔遊びのコーナーや軽スポーツなど、プログラムも盛りだくさん。

参加した子どもたちからは「遊ぶところがいっぱいあっておもしろかった、またこんなイベントをして欲しい」などという意見が多く寄せられ、ジュニアリーダーからは「裏方に徹する方々の姿を見て、将来こんな人になりたい」とうれい声を聞くことができました。参加者それぞれが充実した一日になりました。 [青少年育成課]

## 米っくらぶにかける思い

米っくらぶの参加者の声  
今回は、参加者の感想をお届けします。

### 《子ども》

○収穫感謝祭が楽しかったです。逆に雨の中で行われた稲刈りが大変でした。農作業はとて大変なのに、農家の方はあきらめずに年間通してやり続けることがすごいと思いました。



皆勤賞の子どもたち

- 今年で3回目の参加になりますが、はじめは転んで靴が脱げるなど嫌なことばかりでした。今年は代掻きの時に泥んこまみれになってすごく楽しかったです。参加してお米を作るのがこんなに苦労するとは思いませんでした。これからはご飯を残さず食べようと思いました。
- 泥にはまって、泥が暖かくてとても気持ちがよかったです。自然はいいなあと思いました。また来年も参加したいです。
- 田んぼでたくさんの生き物に出会うことができました。稲刈りの時、カマで稲を刈る音がジャキジャキとして気持ちよかったです。収穫感謝祭ではいろいろなおもちを食べられておいしかったです。

### 《保護者》

○市の体験教室でお茶碗を作り、米っくらぶでお米を作り、親子で食生活を学ぶ良い経験となりました。活動を通して、子どもが嫌がらずに何でも挑戦するようになりました。



○水田の横を通る道が自分の通勤路ということもあり、自分が父親になったら子どもとやりたいと思っていました。子どもが自分でできることが増えたこと、泥の暖かさを感じて田んぼが好きになってくれたことがよかったです。

○子どもは、普段は自分から前に出て行動するタイプではないが、米っくらぶでは前に出て積極的に行動する姿が見られてよかったです。 [地域教育課]

## 力作ばかり、ど〜んと集合!



## 市川市こども作品展・新聞展 11/19~23

今年は、市川市文化会館展示室・大会議室に7,372人の方々が見学に訪れました。市内の幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校から出品された作品は、子どもたちの夢や願いがこもった力作ばかり。多くの方々に楽しんでいただくことができました。

子どもたちからは、「おもしろかったです。すごかったです(幼稚園児)」「中学校の人達の作品を見たら、私もあんな感じに作りたいな書きたいなと思いました(小学生)」「一人一人の個性が出ていて、よかったと思いました(中学生)」大人の方からは、「今年初めて見に来ました。このような作品展があると、励みになります」「新型インフルエンザが大流行し、学級閉鎖等で時間がなかった時期にこれだけの作品を制作したことに大変感激しました。皆さん、丁寧に作っていて驚いています」などの声をいただきました。来年度も、子どもたちの夢にあふれたすばらしい作品を、数多く展示したいと思います。 [指導課]



### シリーズ(3) 美しい日本語 ～人をつなぐ 未来へつなぐ～

前号の記念対談で話題になりました「市川」における文学のかおりについて、市川市文学プラザの根岸英之さんにお話を伺いました。



水木邸：昔の遊び体験

#### 「市川」における文学のかおりについて

日本で最も古い歌集である「万葉集」に真間の手児奈(てこな)が登場するのは有名な話ですね。江戸時代には、松尾芭蕉や小林一茶が市川の地を訪れ、明治以降でも正岡子規、与謝野晶子らの文人が紀行文や詩歌に市川を描いています。大正期には、北原白秋が真間に暮らしていますし、昭和に入ると草野心平、井上ひさし、梶山俊夫など多くの文学者が市川に暮らし、市川を描いています。

文学者の市川での暮らしを想像すると、今の私たちと同じ景色を眺め、同じ空気を吸っていたことに感慨を覚えます。作品に登場する「市川の町」は、自然豊かな人情味のある町として紹介されています。それらに少しでも触れたとき、市川の持つ「文学のかおり」を感じることができるのではないのでしょうか。

#### 身近にある「文学スポット」とは？

前号でも「文学の散歩道」についての紹介がありましたね。1時間くらいかけてゆっくり歩いてみるとよいと思います。春、桜が満開の頃が一番よいかもしれませんね。

『いちかわ便利帳09-10』(101～102p)には、「街かどミュージアム」として「東山魁夷記念館」など7つの施設が紹介されています。その中の1つ「文学プラザ」(市川市生涯学習センター3階)は、市川の文学の魅力を紹介している施設です。2月末までは企画展「寄席と相撲が好き～小島貞二の世界～」を開催し、併せて「記念寄席」や「講演会」も予定しています。

また、「水木洋子邸」は、文学だけでなく「昭和の暮らし」を体感できる場所です。第2・第4土日が開館日で入場は無料です。昔の生活道具やたくさんの草木があつてとても落ち着きますよ。

#### 手児奈(てこな)について教えてください

市川市の文化事業のシンボルマークは、「てこな」の文字をデザインしたものです。「手児(てこ)」は、「手に抱く児」「幼児」を意味し、そこから「むすめ」「おとめ」の意味で使われるようになったようです。「真間の手児奈」は、「真間のむすめさん」という意味で、もしかしたら、何人ものイメージが一人の人物のように伝わったのかもしれない。「手児奈」を調べるための本や、手児奈に触れた古い書物は百冊近くに及びます。



シンボルマーク

去年は、「真間の手児奈」の紙芝居を使ってワークショップを開催しました。大人だけでなく、子どもたちも一緒になって文学に触れる機会となりました。



手児奈紙芝居のワークショップ：根岸さん

#### おすすめの冊子 小・中学生のために・・・

市川の学校は、読書教育がさかんですから、様々な本が紹介されていると思いますが、国松俊英著『星野道夫物語』(ポプラ社)・小島貞二著『こども古典落語』(アリス館)なども目を通してみてください。いずれも市川にゆかりのある作品です。「文学の町市川」を支えているのは、有名な作家たちだけでなく、たくさんのお好きの市民の方々です。皆さんもその一人なのです。



[欄外参照]

お話の最後に、子どもたちに向けたメッセージをいただきました。「本は自分の興味や関心を広げるためのツールの1つ。本だけでなく、様々なことに興味・関心をもって大きくなってください」

お話の合間に伺った「有名な作家さんたちも、初めから有名だったわけじゃないですから。小さい頃は本好きの少年少女だったのでしょね」という言葉が心に残りました。

[指導課・教育センター]

### 身近な仲間とともに 学習発表会 特別支援学級・学校

特別支援学級・学校の合同学習発表会は、新型インフルエンザの感染防止のため各学校での発表という形に変更して行われました。いつも一緒に生活する学校の友だちや保護者の方々に学習の成果を発表する機会となりました。



第四中

10月17日に開催された第四中学校の学習発表会では、今年度新設された特別支援学級「大空学級」の、「校歌」と「ふるさと」の合唱・合奏がありました。学級名の由来が校歌の歌詞にあり、自分たちの新しいふるさとができたことを伝えたいという気持ちで選曲したということです。6人全員で力を出しきった発表は、温かい拍手と高い評価をいただき、心に残る素晴らしい時間になりました。

大空学級の演奏

#### 小学部

#### 中学部

#### 高等部

#### 須和田の丘



須和田のお仕事 紹介しまショー

ブザービート 須和田のヒーローたち

67名での合奏と合唱 輪唱・二部合唱

須和田の丘支援学校は、11月28日(土)に第二中学校の体育館をお借りして「実りの秋の発表会」を行いました。

小学部は普段の学習課題や係活動など日常の学校生活を、中学部は体育の授業を取り入れた劇を熱演し、拍手が鳴りやみませんでした。高等部は67名で「Sing Sing Sing」とミュージカル「人間になりたかった猫」から「すてきな友達」を合唱しました。輪唱や二部合唱が入った堂々とした歌声に、感動が広がりました。

身近な友だちや保護者、先生方に囲まれて行った発表は、合同学習発表会とは一味違う自信や達成感につながる、充実したものになりました。

[指導課]

### 平成22年度 市川市立小・中・特別支援学校 講師登録について ～新規登録者を募集します～

期日 随時 ※必ず電話で連絡をしてください。  
場所 市川市役所 4階 教育委員会 学校教育課 義務教育課  
※履歴書(市販のもの)と教員免許状(取得見込み証明書)のコピーを持参して下さい。  
職種 臨時教職員(県費教員・養護教諭・栄養士・事務・市費補助教員など)  
資格 相当免許状を有し、教育活動に意欲と情熱のある方  
※ただし、事務職員は免許状不要  
★詳細は、義務教育課教職員班(Tel. 334-1638)にお問い合わせ下さい。

関連クイズ(3面)の答：ま…豆類 ご…ゴマ わ…ワカメなど海藻類 や…野菜 さ…魚 し…シイタケなどのキノコ類 い…イモ類・穀類

### 博物館からのお知らせ

自然博物館 ◆散策会◆ 季節ごとの風景を楽しみながら、気軽に散策します。申し込み不要。  
1月24日(日)「クロマツのある街なみ」：市川駅～本八幡  
2月21日(日)「国府台界限」：里見公園～じゅん菜池緑地

集合場所などは、自然博物館にお問い合わせ下さい。(339-0477) 時間は午前10時～11時30分です。天候不良の時は中止です。